

【JKオナホ強制令】
あなただけのオナホJKちゃんとずう～っとラブラブ孕ませ懇願エッチ♪

	◇トラック01 世界観説明パート
ひまり	「少子化社会が問題視されて数十年」
ひまり	「いつまでも改善しないこの問題に対して、政府はついに強硬策を実施しました」
ひまり	「その政策の名前は『オナホ強制令』」
ひまり	「高校生の少年少女に種付けの快楽と素晴らしさを」
ひまり	「何よりセックスへの抵抗をなくす為に作られた新法案です」
ひまり	「オナホ強制令が施行されて十数年が経過した現在」
ひまり	「私、春風ひまりは」
ひまり	「難しい受験に合格して、先月からピカピカの1年生になりました」
ひまり	「つまり……」
ひまり	「ついに！ 大好きな先輩のオナホールになれる日が来たんです♪」
ひまり	「先輩♪ ひまり、先輩が自慢できるような立派なオナホールになりますから！」

ひまり

「楽しみにしててくださいね♪」

	◇トラック02
ひまり	「ん、ふうふう……ちゅ♪ はあ……む……ちゅ……はむ……ちゅ♪ ちゅ……ちゅ♪」
ひまり	「れろれろ……ん……ちゅ♪ えへへ♪ 先輩……ちゅ♪ ん、ちゅ♪ ちゅ……ちゅ♪」
ひまり	「先輩♪ 先輩……♪ ちゅ……れろちゅ……♪ ちゅ……♪ ちゅ、ちゅ……♪」
ひまり	「つて、あ」
ひまり	「えへへ♪ 先輩♪ 目が覚めましたか？」
ひまり	「はい♪ もう放課後……つまり、オナホールとエッチするお時間ですよ？」
ひまり	「先輩ったら……ん……ちゅ♪ れろれろ……ちゅ、ちゅ♪」
ひまり	「もしかしてホームルームからずっと居眠りしてたんですか？」
ひまり	「んもう♪ はむ、ちゅ♪ 先生のお話はしっかり聞かなきゃダメですよ？」
ひまり	「ん……ちゅ♪ はあ……あむ♪ れろれろ……んちゅ♪」

ひまり 「……ふえ？ さっきから何でお耳を舐めてるか、
ですか？」

ひまり んゝ……ちゅ♪ だって……はむ♪ はむはむ♪
んゝ……ちゅ♪ れろれろ♪」

ひまり 「ひまりは……ちゅ♪ オナホ強制令で先輩にあて
がわれたオナホールですもん♪」

ひまり 「オナホールは放課後になったら所有者に、ひまり
の場合は先輩にご奉仕する、オナホおまんこを
使って貰う」

ひまり 「それがルールですから♪」

ひまり んゝ……ちゅ♪ あむ♪ れろれろ♪ んゝ……
ちゅ♪」

ひまり 「でも、先輩ってば、放課後になってもひまりを求
めてくれなくて……ちゅ♪ れろぷちゅ♪」

ひまり 「どうしたんだろゝって様子を見に来たら、先輩は
気持ちよさそうに寝ていたので……」

ひまり 「はあゝむ♪ れろれろ♪ んちゅ♪ ちゅ、ちゅ
♪」

ひまり 「こっやってゝ……んれゝゝろれろれろ♪ ちゅぷ
♪ ちゅ……ちゅ♪」

ひまり 「オナホールらしくお耳にちゅっちゅしてたんです
♪ んっ……ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「ん、先輩？ もしかしてひまり、余計なお世話で
したか？」

ひまり 「ひまり……先輩のオナホールとして間違った事し
ちゃってましたか？」

ひまり 「あ……ん♪ えへへ♪ 先輩の頭ナデナデ、ん、
はうっ♪ すっごく嬉しいですよ♪」

ひまり 「ん……あん♪ んっ♪ 先輩……♪ 先輩……♪
ん、ちゅ♪」

ひまり 「好き♪ 先輩大好きです♪ はふうっ……ん、
ちゅ♪ んちゅ♪ はぶ♪ んぶんぶ♪ ちゅ、
ちゅ♪」

ひまり 「ん、先輩……今度は先輩の唇にご奉仕したいんで
すけど、いいですか？」

ひまり 「わあ♪ 嬉しいです♪」

ひまり 「それでは……ん、しょ……っと」

ひまり 「えへへ♪ 先輩♪ はあ……む♪」

ひまり 「んちゅ♪ ん、んっ♪ しえんぱっい♪ はむ♪
ちゅ♪ ちゅぶ♪ はむ♪ ちゅ♪ ちゅ♪」

ひまり 「ん♪ しえんぱいのきしゅ……しゅきい♪ ん
ちゅ♪ れろれろ♪」

ひまり 「とっても甘くて、美味しくて♪ あむ♪ あむあ
む♪ んゝちゅ♪ ちゅ♪ ちゅ♪」

ひまり 「はあう♪ しゅきい♪ しえんぱいらゝいしゅ
きい……♪ はゝ……む♪」

ひまり 「んちゅ♪ ちゅうゝ……ぷはあ♪ はあ、はあ
♪」

ひまり 「んへへ♪ 先輩……ちゅ♪ 先輩のおちんぽ、
さつきからコンコンってひまりに当たってます
よ?」

ひまり 「ん♪ あん♪ ん♪ あうゝ♪ 先輩?」

ひまり 「ひまりのオナホおまんこ♪ もう使いたくなっ
ちやいましたか?」

ひまり 「えへへ♪ 嬉しいです♪」

ひまり 「大好きな先輩に必要とされて、ひまりのおまんこ
を使いたいって言うてもらえて♪」

ひまり 「んゝ♪ あうあうゝ♪ ひまりもお♪ 早く先輩
に使って欲しいです♪」

ひまり 「先輩のおちんぽで、ひまりのおまんこぐちゅぐちゅにして欲しいんです♪」

ひまり 「ですけど……ん……ちゅ♪」

ひまり 「今日はおまんこを使って貰う前に試してみたいことがあるんです♪」

ひまり 「いつまでも同じ」奉仕ばかりじゃ、先輩に飽きられて捨てられちゃうかもしれないですから」

ひまり 「そうですよ？ ひまりは素敵な先輩に見合う、立派なおナホールになるんです♪」

ひまり 「ですから……先輩？」

ひまり 「ひまりのおナホール」奉仕♪ 期待しててくださいね♪ん、ちゅ♪」

	◇トラック03
ひまり	「早速ですが先輩、こちらのイヤホンを両耳に付けて貰えますか？」
ひまり	「はい♪ ありがとうございます♪」
ひまり	「それでは……えい♪」
※以降『ひまりAa』『ひまりBa』といったように同じ小文字のアルファベットが付いているセリフが出てくるがありますが、これは同じ小文字アルファベット同士は同時に再生するように編集してほしいという編集者向けのト書きになります。	
ひまりAa	「せんぱゝゝい♪ はあむ♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」
ひまりBa	「せんぱゝゝい♪ はあむ♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」
ひまり	「えへへ♪ 先輩、どうですか？」
ひまり	「ひまり、先輩の事が大好きで、他のオナホールの子達に絶対渡したくなくて」
ひまり	「出来る事なら先輩にはひまりだけを使ってほしいんですけど」
ひまり	「それだと複数のオナホールを使ったハーレムエッチが出来ないって気づいちゃって……」
ひまり	「だからひまり、考えたんです」

ひまり 「ひまり以外のオナホールを使わずに先輩とハーレムエッチする方法……それがこれです♪」

ひまり 「バイノーラルマイクで録音したひまりの声を流しながらの〜」

ひまり 「はあむ♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪ んはあ〜……む♪ れろれるろ……んちゅ♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「しえんぱい……♪ れろれるろ♪ ちゅ♪ ん〜♪ しゃんぱ〜い……♪」

ひまり 「んちゅ♪ んへへ♪ 好き♪ 先輩、だ〜い好き♪」

ひまり 「はあむ♪ んちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまりA 「んへへ♪ 先輩♪ 聴こえてますか？」

ひまりA 「先輩だけの都合のいいオナホール、ひまりですよ〜♪」

ひまりA 「んあ〜……む♪ ちゅ♪ れろれるろ♪ ちゅ♪ ちゅ♪」

ひまりB 「先輩♪ 先輩♪ あむ、ちゅ♪ ん〜ちゅ♪ ん〜♪ せんぱ〜い♪」

ひまり 「んゝ……ちゅ♪ えへへ♪ 嬉しいです♪ はぶ
♪ ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「ん♪ やん♪ 先輩ってばあ♪ んあ♪ ん♪」

ひまり 「やあ♪ ひまりのおへソにおちんぽグリグリされ
ちゃ……ん♪」

ひまり 「えへへ♪ 先輩のおちんぽ、ひまりのおまんこに
入ろうと一生懸命大きくなってくれてるんですね
♪」

ひまり 「あうゝ♪ 先輩ってば可愛すぎますよお♪」

ひまり 「んゝちゅ♪ はい♪ 今ひまりがズボンから出し
てあげますから、先輩は耳舐めで感じながらゆっ
くりしててくださいね？」

ひまり 「ん……しょ……はゝい♪ 先輩のおちんぽさゝん
♪」

ひまり 「今ズボンから出してあげますねゝ……って、きや
ん♪」

ひまり 「わあ♪ 先輩のおちんぽ出てきましたゝ♪」

ひまり 「あうゝ♪ 先っぽまでおちんぽの皮で隠れちゃっ
てますねえ♪」

ひまり 「はあゝ♪ 何度見ても可愛くて可愛くて……はうゝ♪ 包茎おちんぽ愛しくなっちゃいますよお♪」

ひまり 「はあ……♪ 先輩のおちんぽ♪ ひまりをオナホールにしてくれた大切なおちんぽ♪」

ひまり 「先輩♪ ん……ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「ひまりのお手々で、先輩の可愛いおちんぽの皮♪ ムキムキしてあげますね♪」

ひまり 「ん、しょ……まずは、ん♪」

ひまり 「ひまりのおまんこから漏れるエッチなお汁を掬い取ってゝ」

ひまり 「ん♪ あ♪ 凄い……♪ ん♪ はあ、はあ♪」

ひまり 「えへへ♪ 先輩のおちんぽの香りで……ん♪ ひまりも発情しちゃってるみたいです♪」

ひまり 「おまんこの穴も、おしっこの穴も♪ オナホールらしくヒクヒク震えちゃって♪」

ひまり 「んむ♪ ん♪ はあ、はあ♪ せ、先輩い♪ ん、ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「んあ♪ やッ♪ そんな、んん♪」

ひまり 「だめ、このままじゃ出ちやいます……♪」

ひまり 「先輩の包莖おちんぽにお汁かかっちゃいますよお♪」

ひまり 「あ♪ や♪ や♪ やあ♪」

ひまり 「先輩♪ 先輩い♪ ん♪ ん、ん~~~~♪」

ひまり 「んツきゆううう~~~~……♪」

ひまり 「んひゃああ♪ やあ♪ 先輩、先輩い~~~~♪」

ひまり 「ひやうツ！ んや♪ かかってます♪ 先輩のおちんぽにお潮かかっちゃってますう♪」

ひまり 「んきゅ♪ ん♪ ん~~~~♪ はう~~~~♪ ん~~~~♪
はあ、はあ♪」

ひまり 「え、えへへ♪ ごめんなさい……こんなつもりじゃなかったのにお漏らししちゃって」

ひまり 「でもこれだけ濡らしちゃえば……ん」

ひまり 「包莖おちんぽの皮を両手で摘んでえ〜」

ひまり 「えい♪ チン皮むきむき♪ チン皮むきむき♪」

ひまり 「包莖むきむき♪ 包莖むきむき~~~~♪」

ひまり 「わあ♪ 先輩のチン皮剥けましたあ♪」

ひまり 「はう~~~~♪ すっ~~~~く濃い匂いが漂ってきて♪」

ひまり

「すう~~~~はあ~~~~♪」

ひまり

「えへへ♪ 先輩のおちんぽ、とっても綺麗ですう♪」

ひまり

「先っぽは可愛いピンク色で、カリ首は大きく出っ張って♪」

ひまり

「ん♪ ひまり、このおちんぽに処女を捧げたんですよね……」

ひまり

「おまんこの穴を無理矢理広げられて、小さな子宮をパンパン潰されて♪」

ひまり

「ひまりの事、沢山愛してくれて♪」

ひまり

「先輩♪ ひまりを先輩のオナホールにしてくれてありがとうございます♪」

ひまり

「これから先輩のおちんぽで……」

ひまり

「いいえ♪ 先輩の『おちんぽ様』で♪」

ひまり

「ひまりを立派なオナホールにしてください♪」

ひまり

「ん~~~~ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり

「ん♪ 先輩♪ 好き♪ ちゅ♪ 好き♪ 好き♪ 大好き♪」

ひまりA 「えへへ♪ 先輩？ そろそろ耳舐めにも変化を加えてあげますね♪」

ひまりB 「ひまりのベロ全体でねっとり舐めるように…」

ひまりAd 「んれゝゝろれろろろ♪ れゝゝろれろろろ♪」

ひまりBd 「んれゝゝろれろろろ♪ れゝゝろれろろろ♪」

ひまり 「んちゅ♪ ん♪ 先輩♪ どうぞ♪」

ひまり 「おちんぽ様辛いですよね？」

ひまり 「いいですよ？ ひまりの太腿で挟んであげますから♪」

ひまり 「どうぞ♪ 太ももとおまんこの間で沢山シコシコしてください♪」

ひまり 「ん♪ それ♪ おちんぽシコシコ♪ おちんぽシコシコ♪」

ひまり 「って、ひゃん♪ やあ♪ 先輩ってば、そんなに腰をへこへこされると、ん♪ ああん♪」

ひまり 「はあ、はあ♪ えへへ♪ 嬉しいです♪」

ひまり 「もっとひまりの太腿で興奮してください♪」

ひまり 「ん、ちゅ♪ はむ♪ ちゅ♪ んゝちゅ♪」

ひまり 「ん♪ 実は最近、ちょっと太腿が太くなってきて
恥ずかしいんですけど……」

ひまり 「先輩はこれくらいプニプニしてる太ももの方が好
きですね？」

ひまり 「えへへ♪ 先輩好みのオナホールになれるなら羞
恥心なんていくらでも捨てられます♪」

ひまり 「それぞれ♪ おちんぽシコシコ♪ おちんぽシコ
シコ♪」

ひまり 「ん♪ きゃう♪ ふえ？ せ、先輩？」

ひまり 「え？ もうイっちゃうんですか？ おちんぽ様
イっちゃうんですか？」

ひまり 「ひまりの」奉仕でイってくれるんですか？」

ひまり 「えへへ♪ はい♪ いいですよ？ 先輩がイきた
い時にイってください♪」

ひまり 「ひまりの太腿でびゅっぴゅしてください♪」

ひまり 「ひまりに先輩のザーメンいっぱいかけちゃってく
ださい♪」

ひまり 「はあ、はあ♪ 先輩♪ 先輩♪」

ひまり 「おちんぽイク♪ おちんぽイっちゃう♪」

ひまり 「ひまりの太腿でお精子でる♪ ひまりのお股でお精子出しちゃう♪」

ひまり 「イク♪ イク♪ イク♪ イク♪」

ひまり 「イクイクイクイクイクイクイクイク♪」

ひまり 「おちんぽぴゅっぴゅ♪ おちんぽぴゅっぴゅうううう♪」

ひまり 「ん、あううううう♪」

ひまり 「やあ♪ 先輩、ん♪ 凄いです♪」

ひまり 「ひまりの太腿にお精子がぴゅぴゅって出て、ん♪ ああん♪」

ひまり 「あ♪ おまんこにも、ん♪ はあ、はあ……ん♪」

ひまり 「やあ♪ ひまりのお股、先輩の色に染められてますう♪」

ひまり 「先輩の香り♪ 先輩のお精子♪ ん、あん♪ はあ、はあ♪」

ひまり 「先輩♪ 先輩……♪ ん♪ んうう♪」

ひまり 「ん♪ え、えへへ♪ やっとお射精止まりましたね♪」

ひまり

「先輩♪ んゝ……ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり

「どうでしたか？ ひまりの太腿」

ひまり

「おまんこやお口みたいに、ちゃんとオナホールになれてましたか？」

ひまり

「わぁ♪ 本当ですか？ 良かったです♪」

ひまり

「イヤホンでの耳舐めも気に入ってもらえたみたい
ですし」

ひまり

「えへへ♪ またして欲しくなったらいつでも言っ
てくださいね？」

ひまり

「先輩♪ ちゅ♪」

	◇トラック04
ひまり	「せーんぱい♪ 次はいつもしているおちんぽ特訓のお時間ですよ？」
ひまり	「出生率を上げるには女性のオナホール適正は勿論、男性の射精量も重要ですから♪」
ひまり	「先輩が沢山お射精出来るように、ひまり、頑張りますね♪」
ひまり	「それでは……ん……せーんぱい♪」
ひまり	「こっちのお耳はひまりがいますから、反対のお耳にイヤホンをしてもらえますか？」
ひまり	「えへへ♪ ありがとうございます♪」
ひまり	「それでは……えい♪」
ひまりA	「ん、ふう~~~~~えへへ♪ 先輩……♪
ひまり	ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」
ひまり	「先輩♪ 今からこちらのお耳でひまりがカウントを取ってあげますので〜」
ひまり	「先輩はその間、〴〵自分でおちんぽ様をシコシコしてください♪」
ひまり	「一生懸命おちんぽぴゅっぴゅを我慢して、お金玉に沢山お精子を溜めてくださいね♪」

ひまり 「それじゃあいきますよう？」

ひまり 「せゝ……の♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪
しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪ しち
♪ はち♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪
しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪ しち
♪ はち♪」

ひまり 「えへへ♪ 先輩？ どうですか？ まだまだ我慢
出来そうですか？」

ひまり 「ん……ちゅ♪ 流石はひまりの先輩です♪」

ひまり 「それじゃあ今度はゝ……舌先でれろれろしながら
ゝ……せゝ……の♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪
しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪ しち
♪ はち♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪ ー♪ お♪ ろく♪
しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪ ー♪ お♪ ろく♪ しち
♪ はち♪」

ひまり 「今度はねっとりとぅ……せぅ……の♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪ ー♪ お♪ ろく♪
しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪ ー♪ お♪ ろく♪ しち
♪ はち♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪ ー♪ お♪ ろく♪
しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪ ー♪ お♪ ろく♪ しち
♪ はち♪」

ひまり 「ん？ わぁ♪ 先輩のおちんぽ様、ビクビクって
跳ねてます♪」

ひまり 「おちんぽシコシコして感じてくれてるんですね
♪」

ひまり 「ん♪ はぁ、はぁ……♪ 先輩……♪ 先輩い…
…♪」

ひまり 「ちゅ♪ んゝ……ちゅ♪ しゅき♪ 先輩大しゅ
き♪ ん……ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「すみません……先輩……♪ 少しこのまま……ん
♪ ひまりの気持ちをお耳で受け取って貰えます
か？」

ひまり 「ん……先輩……先輩……♪ ん♪」

ひまり 「ちゅ♪ ん、ちゅ♪ 先輩好き……♪ 先輩、大
好き……♪」

ひまり 「んゝ……ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪ ん……先輩♪
先輩い……♪」

ひまり 「はむ……ん♪ ふうゝゝ……ちゅ♪ ん……ちゅ
♪ れろ、れろれろ……♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「先輩のおちんぽ大好き♪ 先輩の包茎おちんぽ様
だゝい好き……♪」

ひまり 「先輩♪ 先輩♪ 先輩♪ 先輩……♪」

ひまり 「ちゅ♪ はむ♪ はむはむ♪ ん……ちゅ♪
ちゅ、れろ……んちゅ♪ ちゅ……ちゅ♪」

ひまり 「ん♪ もっとおちんぽシコシコしてください♪
先輩のおちんぽ様、いっぱい気持ちよくなっ
てください♪」

ひまり 「ひまりのお口で♪ オナホールのお口まんこで♪
はむ♪ ちゅ♪ れろ……ちゅぷ♪」

ひまり 「ひまりの気持ち……ひまりの大好き……いっぱい
感じてください♪」

ひまり 「あ……む♪ ちゅ♪ れろちゅ♪ ん……ふう
……ちゅ♪ れちゅ……ちゅ♪」

ひまり 「んむ♪ ん……そろそろお耳の舐め方も変えます
ね？」

ひまり 「えへへ♪ 先輩♪ ちゅ♪ はむ♪ はむはむ♪
ん……ちゅ♪ れろ……ちゅぷ♪」

ひまり 「ちゅ……♪ ちゅ……♪ ちゅ……♪ ちゅ……
♪」

ひまり 「ん♪ しゅき……♪ しえんぱい……♪ はぷ♪
はぷはぷ♪」

ひまり 「ん♪ れろれろ……えへ♪ 先輩の耳垢……先
輩の耳カス……♪」

ひまり 「ちゅ♪ れろ、れろれろ……はぷ♪ ちゅぷちゅ
ぷ……ちやぷ♪ ぷちゅ♪」

ひまり 「れろれろ、ん♪ はい♪ ひまりのお口でお耳、
綺麗にしてあげまふ……♪ はぷ♪」

ひまり 「れろれろ……ちゅぷ♪ んぷ……ちゅぷちゅぷ♪
んちゅ……れろ、ちゅ♪」

ひまり 「ん♪先輩♪ おちんぽしこしこ♪ おちんぽし
こしこ♪ れろれろ♪」

ひまり 「んあ……♪ あ♪ あうう♪ 先輩、先輩い……
♪」

ひまり 「はあ、はあ……♪ はい♪ あと少し……ん♪
もう少し頑張ってください♪」

ひまり 「いっぱいシコシコして、ひまりのオナホマンコに
ぴゅっぴゅしましうね♪」

ひまり 「んぷ♪ ちゅぷちゅぷ♪ んちゅ♪ ん♪ 先輩
♪ しゅきしゅき♪」

ひまり 「あむ♪ んう……ちゅ♪ れろちゅ♪ ん♪
しゅき♪ しゅき♪ しゅき♪ しゅきい♪」

ひまり 「れろ……れろれろ……ん、ふううう……ちゅ♪」

ひまり 「ん♪先輩……♪ 好き♪ 好き♪ 好き♪
しゅきい……♪ んう……ちゅ♪」

ひまり 「はふうう♪ えへへ♪ 先輩お疲れ様でした♪」

ひまり 「最初の頃はひまりのお口ご奉仕ですぐぴゅっぴゅ
しちゃってましたけど……」

ひまり 「今はそんな事なくって、むしろ……あう……♪」

ひまり 「先輩のシコシコを見てたら……あん♪」

ひまり 「ひまりのおまんこの方が先にプシュプシュしちゃいそうで……ああん♪」

ひまり 「先輩♪ 先輩い……♪ ん……ちゅ♪」

ひまり 「えへへ♪ 堪え性のないオナホールでごめんなさいです♪」

ひまり 「その代わり……ん……しょ……つと……」

ひまり 「今度はこちらのお耳で、またカウントを取ってあげますね♪」

ひまり 「それじゃあ先輩？ せ……の♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪」お♪ ろく♪ しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪」お♪ ろく♪ しち♪ はち♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪」お♪ ろく♪ しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪」お♪ ろく♪ しち♪ はち♪」

ひまり 「えへへ♪ 次はお耳の奥までねっとり〜……せ
〜……の♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪
しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪ しち
♪ はち♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪
しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪ しち
♪ はち♪」

ひまり 「ん……ふえ？ まだ我慢できそうなんですか？」

ひまり 「えへへ♪ それならもう一度〜……♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪
しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪ しち
♪ はち♪」

ひまり 「いち♪ に♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪
しち♪ はち♪」

ひまり 「にいに♪ さん♪ し♪ ー」お♪ ろく♪ しち
♪ はち♪」

ひまり 「あうゝ♪ 先輩？ ちょっとおちんぼ様から臭い
香りが匂ってきますよ？」

ひまり 「先輩の我慢汁と……これ……ちょっとだけおしっ
この匂いも混じってて……」

ひまり 「はうゝ♪ 先輩♪ んゝ……ちゅ♪ えへへ♪
嬉しいです♪」

ひまり 「ひまりのご奉仕で、おちんぼ様ぐちゅぐちゅにし
てくれたんですもんね♪」

ひまり 「はうゝ……♪ やあ♪ 先輩♪ せんぱゝい♪」

ひまり 「んゝ……ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「ひまり、いっぱいご奉仕してあげますから♪」

ひまり 「先輩は存分に、おちんぼ様をイライラさせてくだ
さいね♪」

ひまり 「はあ……む♪」

ひまり 「ん……ちゅ♪ はぶ♪ ちゅ♪ ん……先輩♪
先輩♪」

ひまり 「ちゅ♪ ちゅぱちゅぱ……♪ ん♪ はい♪ 好
きです♪ 大好きです♪」

ひまり 「れちゅ♪ ちゅ……しえんぱい……♪ はぶ♪
ちゅ♪ んゝ……ちゅ♪」

ひまり 「れろ……れろれろ……♪ ん……ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「先輩……♪ ん♪ もっと……♪ ちゅ♪ ひま
りのお口で……♪」

ひまり 「れろろれろ……れろれろれろ……♪ ちゅ
♪ ん……ちゅ♪」

ひまり 「先輩のお金玉に……ちゅ♪ いっぱい精液ためて
ください♪」

ひまり 「ひまりのおまんこを犯す為に……♪ ひまりのオ
ナホールに沢山ぴゅっぴゅする為に……♪」

ひまり 「……ひまりのおまんこを孕ませる為に♪」

ひまり 「ん……ちゅ♪ はい♪ 先輩のオナホールになっ
た日からひまり、覚悟はできていますから♪」

ひまり 「ちゅ♪ れろれろ……ん……ちゅ♪ちゅ♪ちゅ♪
ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「ふあい♪ 先輩♪ ん……ちゅ♪ ちゅ♪
ちゅ♪」

ひまり 「お願いします♪ 先輩の精液でひまりを孕ませて
ください♪」

ひまり 「ひまりと先輩の赤ちゃん、産ませて欲しいです♪」

ひまり 「ん、ちゅ♪ 先輩……♪ しえんぱい……♪ んれ……ろれろろ♪」

ひまり 「はぶちゅ♪ ちゅ♪ ん……ふう……ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「ん♪ ちゅ……ちゅう……ちゅ……ちゅ♪」

ひまり 「ん♪ えへへ♪ 先輩♪ お疲れ様でした♪」

ひまり 「最後までお射精を我慢してくれて……はう……おちんぽ様凄いですよお♪」

ひまり 「ん……ちゅ♪ はむ♪ ちゅ、ちゅ♪」

ひまり 「えへへ♪ 次はひまりの番ですね♪」

ひまり 「ひまりもオナホールとして、先輩のご立派なおちんぽ様を最高の状態でお迎えできるように♪」

ひまり 「ひまりのおまんこ弄り♪ たくさん見て、聴いて、楽しんでくださいね♪」

	◇トラック05
ひまり	「えへへ♪ 先輩、見えますか？」
ひまり	「ひまりのおまんこ♪ ん♪ さっきから先輩のおちんぽ様を想って、ん♪ ぐちゅぐちゅになってたんですよ？」
ひまり	「はあ、はあ♪ って、ああん♪」
ひまり	「ん、やあ♪ 先輩の鼻息が当たって……ん♪ あう♪」
ひまり	「そんなにひまりのおまんこ、気になりますか？」
ひまり	「あうあう♪ 『綺麗なおまんこだね』だなんて……う♪」
ひまり	「そんな風に褒められると……♪ ん♪ あう♪ やあ♪ ダメですよお♪」
ひまり	「おしっこの穴ヒクヒクしちゃってえ♪ んあ♪ あ♪ はう♪」
ひまり	「イ、イクッ♪ おまんこイっちゃいますッ♪」
ひまり	「や、やあ……い、イク♪ イキます♪ おまんこイキます♪」
ひまり	「んあう……♪ イク♪ イク♪ イク♪ イク♪ イク♪ クう♪」

ひまり

「……ダメ、ですか？」

ひまり

「つて、ふえ？　せ、先輩？　つて、ひやう
ッ！？」

ひまり

「ん、あ♪　せ、先輩♪　ひやう♪　ん、や♪　い
きなりおしつこの穴……ん♪　はう♪」

ひまり

「んやあ♪　そんな♪　ぴちやぴちや舐めちや、
ひう！」

ひまり

「あ♪　や♪　あ♪　やあ♪　ん♪　先輩♪　せん
ぱう♪」

ひまり

「んきゅ♪　はあ、はあ♪　ん♪　やあ♪」

ひまり

「ん、えへへ♪　はい♪　気持ちいいです♪」

ひまり

「お願いします♪　そのまま♪　ん♪　ひまりのお
まんこ解してください♪」

ひまり

「先輩の唾液で、おまんこトロトロにしてください
♪」

ひまり

「ん、あん♪　あ♪　あ♪　あ♪　あ♪　あ♪　あ
♪　あ♪　あう♪」

ひまり

「んきゅ♪　せ、先輩♪　ん♪　えへへ♪　はい♪
そこ♪　ん♪」

ひまり

「おしっこの穴の上……♪ ひまりのクリちゃん♪
ん♪ お口でハムハムしてもらえると……♪」

ひまり

「ん♪ ひやう……♪ んきゅ♪ ん、きゅう……
……♪」

ひまり

「はあ、はあ♪ ん、あう……♪ 先輩にひまりのク
リちゃん食べられちゃってます♪」

ひまり

「先輩のお口でハムハムされちゃってますう♪ ん
♪ ああん♪」

ひまり

「あう……♪ あう……♪ あう……♪ あう……
♪」

ひまり

「ん♪ 先輩い♪ う……♪ せんぱい……
♪」

ひまり

「ど、どうですか？ ひまりのクリちゃん、美味し
いですか？」

ひまり

「はあ、はあ♪ ん♪ えへへ♪ どうぞ♪」

ひまり

「クリちゃんを食べながら、マン汁のおかわりも……
…ん♪ ぜひ味わってください♪」

ひまり

「はあ、はあ♪ ん♪ あん♪ あ……♪ あ……
♪ ん、あう……♪」

ひまり

「それと……ん♪ えい♪」

ひまり 「んへへ♪ 先輩♪ ん♪ またイヤホン越しで、
ひまりのお口の音♪ 感じてください♪」

ひまり 「ん、あん♪ あ♪ あ♪ あ♪ あう♪」

ひまり 「はあ、はあ♪ ん♪ 先輩♪ ん、ん♪ 先輩
♪ 先輩い♪」

ひまり 「んあ♪ や♪ あ♪ あ♪ あ♪ んあ♪ あ、
あう♪」

ひまり 「ん、ああん♪ やあ♪ だ、ダメですう♪」

ひまり 「今日の先輩、なんだか激しくて、とっても力強く
て♪ ん♪ あん♪」

ひまり 「ん……ふえ？ ひまりのおまんこ……ん♪ 独占
したい……ですか？」

ひまり 「……ふあああ♪ あうあう……♪ せんぱい
い♪」

ひまり 「んきゅ♪ ん、んきゅうううう♪」

ひまり 「ん、はう♪ ひまりの事、そんな風に思っ
てるだなんて、ん、あん♪」

ひまり 「こんなの、オナホールとしてはこれ以上ない褒め
言葉ですよ♪」

ひまり 「んきゅ♪ ん、はあ、はあ♪ 先輩？ 安心して
ください♪」

ひまり 「先輩がハムハムしてるクリちゃんも♪ 先輩がホ
ジホジしてくれるおしっこの穴も♪」

ひまり 「先輩との赤ちゃんが生まれてくるおまんこの穴も
♪」

ひまり 「ひまりのおまんこはぜ〜んぶ先輩専用です♪」

ひまり 「ん♪ だって♪ ひまりは、先輩だけのオナホー
ルですから♪」

ひまり 「って、ひやう〜♪ んや♪ あ♪ あ♪ あ♪
あう〜〜♪」

ひまり 「んきゅ♪ んッ！ や♪ せ、先輩ッ！ ん♪
ん♪ ん♪ ひやう〜♪」

ひまり 「やつ♪ そ、それ以上されると♪ んあ♪ 大き
いのきちやう♪ 大きいのきちやいますッ♪」

ひまり 「んあ♪ あ♪ あ♪ あ♪ あ♪ あ♪ あ♪
あ♪ あう〜〜♪」

ひまり 「せ、先輩♪ ひまりイキます♪」

ひまり 「おまんこイっちゃいます♪」

ひまり 「思いつきりプシュウウウって出ちゃいますう♪」

ひまり 「んあゝゝ♪ や♪ あ♪ あ♪ あ♪ あ♪ あ♪
♪ あ♪ あ♪ うゝゝ♪」

ひまり 「イク♪ イク♪ イク♪ イクう♪」

ひまり 「イクイクイクイクイクイクイクうゝゝ♪」

ひまり 「おまんこイツきゅううううゝゝゝゝ♪」

ひまり 「ん、きゅうううううゝゝゝゝ♪」

ひまり 「んやあゝゝ♪ ひやゝゝ♪ あうゝゝ♪」

ひまり 「んきゅ♪ ん♪ はうゝ♪ 先輩♪ 先輩♪ 先
輩♪ 先輩いゝ♪」

ひまり 「ん♪ うみゆゝゝ♪ す、凄いです♪ ひまり、
こんなにお漏らししちゃって……♪」

ひまり 「ん♪ はうゝ……♪ ん♪ はあ、はあ……」

ひまり 「え、えへへ……♪ 先輩……♪」

ひまり 「ひまりのオナホおまんこ、先輩の唾液と……ん♪
ひまりのマン汁でえ♪ こんなにトロトロに
なっちゃいましたあ♪」

ひまり 「ん♪ これならきつと、今までで一番気持ちいい
エッチが出来ると思いますから」

ひまり

「先輩♪ ひまりのオナホールで、
沢山おちんぽ
ぴゅっぴゅしてくださいね♪」

	◇トラック06
ひまり	「はあ、はあ……ん♪先輩♪お願いします♪」
ひまり	「ひまりのおまんこに、先輩のおちんぽ様……入れて欲しいです♪」
ひまり	「ん……あ♪先輩……♪ん、きゃん♪」
ひまり	「あうう♪先輩い♪ん……そのまま……ひまりの奥まで来てください♪」
ひまり	「ひまりも先輩のおちんぽ様を迎え入れようと、子宮が降りてきますから♪」
ひまり	「はい♪ひまりの子宮にキスしてください♪」
ひまり	「……ひまりのおまんこ、結婚してください♪」
ひまり	「んあ♪はうう♪先輩……♪先輩……♪」
ひまり	「んきゅ♪ん♪やあ♪来ますう♪先輩のおちんぽ様奥まで来ますう♪」
ひまり	「はうう♪んあ♪あ♪あ♪あ♪あ♪あ♪あううう♪」
ひまり	「んうう♪んッ……きゅううううううううううううううう♪」

ひまり 「んお♪ ん♪ あ♪ あう♪ ん♪ あ、は、
はい♪ 気持ちいいです♪」

ひまり 「先輩のおちんぽ様♪ すっごく気持ちいいです♪
んあ♪ あ♪ あん♪」

ひまり 「ん♪ はあ、はあ♪ ん♪ やっ♪ あ♪ あ♪
あ♪ ああん♪」

ひまり 「んく♪ ん♪ ひやう♪ ん♪ あ♪ せ、先輩
も♪ ん♪ 気持ちよくなってくれてますか？」

ひまり 「ん♪ はあ、はあ、えへ、えへへ♪ そ、そうな
んですね♪ それは、ん♪ 嬉しい、です♪」

ひまり 「ん、あん♪ や♪ んく♪ ん♪ あ♪ あ♪
あ♪ ひやう♪」

ひまり 「んきゅ♪ ん♪ や♪ あ♪ あ♪ あ♪ あ♪
あ♪ あ♪ あ♪ あ♪ あう♪」

ひまり 「はあ、はあ♪ ん♪ せ、先輩♪ ん♪ どうぞ
♪」

ひまり 「ひまりのおまんこの中で、おちんぽ様綺麗になっ
てください♪」

ひまり 「おちんぽ様から溢れたチン汁もお♪」

ひまり 「チン皮に張り付いたおチンカスもお♪」

ひまり 「拭き取れなかったおしっこの残りカスもお♪」

ひまり 「全部ぜんぶ♪ ひまりのおまんこで綺麗にしてあげますから♪」

ひまり 「ん♪ どうぞ♪ 存分に♪ ん♪ あん♪ はあ、はい♪」

ひまり 「ひまりのおまんこプールで洗い流してくださいね♪」

ひまり 「って、ひやうう!?!」

ひまり 「んお♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪」

ひまり 「せ、先輩い♪ ん♪ やあ♪ しょ、しょ」

ひまり 「クリちゃんの裏側、ん♪ やあ♪ ひまりの弱いところコスコスされると……んほ♪ お♪ お♪」

ひまり 「ひ、ひまりい……♪ んむう♪ ダメになっちゃいますう♪」

ひまり 「ひまり、変な声出ちゃって、喋れなくなっちゃってえ♪」

ひまり 「やあ♪ んお♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪ お♪」

ひまり 「ひゃう〜……そ、それなら……ん♪ や♪ ああ
ん♪ う、う〜♪」

ひまり 「先輩い……♪ まだイヤホンはしてくれてますよ
ね？」

ひまり 「……は、はい♪ ひまりがエッチに喘いでいる
間、ん♪」

ひまり 「どうか……ん♪ お♪ お〜♪ ひまりの愛を聴
いてください♪」

ひまり 「んあ♪ はあ、はあ……ん、えい♪」

ひまりAe 「ふう〜……♪ せんぱい♪ ん、ちゅ♪
ちゅ、ちゅ♪」

ひまりBe 「ふう〜……♪ せんぱい♪ ん、ちゅ♪
ちゅ、ちゅ♪」

ひまりA 「んへへ♪ 先輩♪ 好きです♪ 大好きです♪
ちゅ♪ ん〜……ちゅ♪」

ひまりB 「これを聴いてくれてるって事は、きっと今はひ
まりとエッチしてくれてるんですね？」

ひまりB 「えへへ♪ とうですか？ ひまりは今、しっかり
先輩を気持ちよくできてますか？」

ひまりB 「ひまりのおまんこ♪ 楽しんでくれますか？」

ひまりA 「ん、ちゅ♪ れろ、ちゅ♪ えへへ♪ 先輩、お願いです♪」

ひまりA 「ひまりがどれだけダメって言っても、絶対に腰を止めたりしないでください」

ひまりA 「たとえひまりが気絶しても、ひまりが壊れちゃっても♪」

ひまりA 「先輩にはひまりの体で満足して欲しいんです♪」

ひまりA 「ひまりのおまんこで、ただただ気持ちよくなって欲しいんです♪」

ひまりB 「そうですよ？ 遠慮なんてしたらひまり、許さないんですから♪」

ひまりA+ 「さあ先輩♪ 思いつきりひまりを犯しちゃってください♪ はあむ♪」

ひまりB+ 「さあ先輩♪ 思いつきりひまりを犯しちゃってください♪ はあむ♪」

ひまり 「んお♪ お♪ お♪ お♪ おう♪」

ひまり 「しえ、しえんぱい♪ ん♪ ああん♪ や♪ やあ♪」

ひまり 「しやえんぱい♪ お、お願いしましゅ♪ ん♪ あ♪ ん♪ あうう♪」

ひまり 「き、きしゅー♪ 先輩とエッチしながらきしゅ
したいれしゅ♪」

ひまり 「ん♪ はう♪ ん♪ きしゅハメえ♪ ん……あ
ぷ♪」

ひまり 「んちゅ♪ ちゅ♪ ん、んー♪ しえんぱーい♪
ん♪ あぷ♪」

ひまり 「ちゅ♪ ちゅ、ちゅ♪ んちゅ♪ れちゅ♪
ちゅぷちゅぷ♪」

ひまり 「ん♪ ひやう♪ んあ♪ あ♪ あ♪ あ♪
あうー♪」

ひまり 「んぷっ♪ や♪ せ、先輩♪ だ、ダメ……♪
そんな♪ ん♪ やあ♪」

ひまり 「お、奥う♪ んぷ♪ ん、ひやうんッ♪」

ひまり 「んあ♪ や、やあ♪ んほ♪ お♪ お♪ おー
♪」

ひまり 「はあ、はあ♪ 子宮コンコンってえ♪ ん♪
やあ♪」

ひまり 「ひまりの赤ちゃんのお部屋、こじ開けられてま
すう♪」

ひまり 「先輩の赤ちゃん欲しがっちゃってますう♪」

ひまり 「んほ♪ お♪ お♪ お♪ お〜♪」

ひまりA 「先輩？ そういえば言い忘れてましたけど、ひまり、実はそろそろ危険日に入りそうなんです♪」

ひまりB 「多分この音声を聴きながらエッチしてる頃には、危険日真っ只中だと思います♪」

ひまりB 「つまりですね？」

ひまりAg 「今中出ししてくれれば、ひまり、先輩の赤ちゃん孕んじやうんですよ？」

ひまりBg 「今中出ししてくれれば、ひまり、先輩の赤ちゃん孕んじやうんですよ？」

ひまりA 「ひまりはまだ女子校生になったばかりなのに♪」

ひまりB 「ひまりはついこの前まで処女だったのに♪」

ひまりA 「先輩のおちんぽ様で♪」

ひまりB 「先輩のお精子様で♪」

ひまりAh 「ひまりの子宮、種付けされちゃうんです♪ 先輩の赤ちゃん、産めちゃうんです♪」

ひまりBh 「ひまりの子宮、種付けされちゃうんです♪ 先輩の赤ちゃん、産めちゃうんです♪」

ひまりA 「先輩♪ お願いします♪ ひまりに先輩の赤ちゃん産ませてください♪」

ひまりB 「ひまりのおまんこを、先輩だけの孕み袋にしてください♪」

ひまりAi 「ひまりを一生、先輩のお嫁さんオナホールにしてください♪」

ひまりBi 「ひまりを一生、先輩のお嫁さんオナホールにしてください♪」

ひまり 「んお♪ ん♪ ひゃううう！ んあ♪ お♪ お♪ おお♪ おうう♪」

ひまり 「こ、これえ♪ え、えへへ♪ 先輩♪」

ひまり 「ひまりの種付けオネダリ♪ 聴いてくれたんですね♪」

ひまり 「はうう♪ 嬉しいですよお♪ んう♪ 先輩♪ せんぱい♪」

ひまり 「ん♪ ひゃう♪ は、はい♪ 来てください♪」

ひまり 「ひまりの危険日おまんこに沢山ぴゅっぴゅしてください♪」

ひまり 「先輩の赤ちゃん、ひまりのおまんこで産ませてください♪」

ひまり 「ひまりの事、お嫁さんオナホールにしてください♪」

ひまり 「んあ♪ はうう♪ んお♪ お♪ お♪ お♪
おうう♪」

ひまりB 「先輩？ そろそろイキそうですか？」

ひまりA 「えへへ♪ それならひまりがタイミングをとってあげますから、一緒に気持ちよくなりましょうね♪」

ひまりB 「せんぱうい♪ いきますよう？」

※ ひまりA 「せうの♪ じゆう♪ きゆう♪ はうち♪
なうな♪ ろくく♪ ごうお♪ ようん♪ さ
うん♪ にうい♪ いうち♪」

※ ひまりB 「せうの♪ じゆう♪ きゆう♪ はうち♪
なうな♪ ろくく♪ ごうお♪ ようん♪ さ
うん♪ にうい♪ いうち♪」

ひまり※ 「んひやあああ♪ 先輩♪ 先輩い♪」

ひまり※ 「ひまりもイキますう♪ 先輩と一緒におまんこ
イっちゃいますう♪」

ひまり※ 「んひやあああ♪ んお♪ お♪ おおうう♪」

ひまり

「んあゝ……♪ せんぱゝい……♪ ん……♪ あ
……♪ はあ、はあ……」

ひまり

「んへ♪ えへへへ♪ す、凄うれしゅ……♪ ん
♪ ひまりのおまんこ、いっぱいぴゅっぴゅされ
て……♪」

ひまり

「ん♪ はい♪ もっと出してください♪」

ひまり

「先輩のお金玉が空っぽになっちゃうくらい……ん
♪ ひまりのオナホまんこにぴゅっぴゅしちゃっ
てください♪」

ひまり

「はあ、はあ……ん♪ それ♪ おちんぽぴゅっ
ぴゅ♪ おちんぽぴゅっぴゅ♪」

ひまり

「おちんぽぴゅっぴゅ♪ おちんぽぴゅっぴゅゝ
♪」

ひまり

「ん、きゃん♪ えへへ♪ 先輩のお残りザーメ
ン、ドピュって出されちゃいました♪」

ひまり

「ん♪ はうゝ♪ 先輩♪ ん……ちゅ♪ ちゅ、
ちゅ♪」

ひまり

「ひまり、きっと先輩の赤ちゃん孕んじやいました
♪ 孕めちゃいました♪」

ひまり

「……先輩は後悔してませんか？ ひまりの事孕ませちゃって、面倒くさい女だっと思ってませんか？」

ひまり

「……うゝ♪ あうあうゝ♪ 先輩♪ せんぱゝい♪」

ひまり

「嬉しいです♪ 先輩♪ せんぱゝい♪」

ひまり

「えへへ♪ はい♪ ひまりも好きです♪ 大好きです♪」

ひまり

「これからも、例え赤ちゃんを産んだ後でも♪ ひまりはずうゝと先輩のオナホールですから♪」

ひまり

「これからも末永く、ひまりの事を♪ ひまりのおまんこも♪ よろしくお願いしますね♪ せゝんぱい♪」
